## 学校教育総合プラン実施計画・評価一覧 2016(H28)~2018(H30)

## 【逗子市立小坪小学校】

	子及教育心ログ		·								1 .11			17 7 2	
3つの柱	項 目 実施計画の重点等	・ 行 動 プ ラ ン	3年間を見据えた取り組み内容 (できるだけ具体的な内容で記載する)	成果 2016	重点目標	成果 2017	重点目標	成果 2018	重点目標	項目別 成果 2016	項目別 成果 2017	項目別 成果 2018	柱別 成果 2016	柱別 成果 2017	柱別 成果 2018
I授業づ		① 「確かな学力」を育むため の指導の充実	学年の実態に応じて、算数での習熟度別グループ編成で少人数指導を実施し、理解度に応じた指導法の工夫を行う	А	<b>V</b>	А	<b>V</b>	А		80%		80%	75%	73%	75%
	1 授業力の向上	② 授業研究の充実	学習指導案の事前研究、研究授業、事後研究など、校内研究の充実を図る	А		А		А	<b>√</b>		80%				
		③ 学習規律の確立	「小坪小スタンダード」の活用を通し、授業規律の定着を図る	А		А	\ \	А	<b>V</b>						
		① 読書活動の推進	朝読書や保護者ボランティアによる読み聞かせなどを継続し、読書活動を充実させる	А		А	<b>√</b>	А	<b>V</b>	73%					
		② 防災・減災教育の推進	児童自らが体験を通して危険予測・危険回避の能力を培うため、安全教育を計画的に実施する	А		В		А	<b>V</b>						
		③ 食育と体力づくり・健康教育の推進	食に対する正しい知識と望ましい食生活・食習慣を身に付けるための食育指導に計画的に取り組む	А		А		А				73%			
づく		④ 情報教育の推進	教員が積極的にICTを活用した授業に取り組むことにより、発達段階に応じたメディアリテラシーの育成に取り組む	В		А		В							
Ŋ	2 多様な教育活動 の充実	⑤ 福祉教育の推進	学校生活のあらゆる場面で、発達段階に配慮した人権教育を実施し、人権感覚の醸成を図る	А		В		А			71%				
		⑥ 環境教育の推進	地域教育力を活用し、環境に関係する体験的な活動を取り入れる	А		Α		А							
		⑦ キャリア教育の推進	教育活動のあらゆる場面で、人間関係形成能力や意思決定能力の育成を意識する	В		В		В							
		⑧ 国際教育の推進	多様な文化を理解するための学習活動を各学年の発達段階に応じて取り入れる	В		В		В							
		⑨ 市民性教育の推進	たて割り活動の中でリーダーシップとフォロワーシップを身に付けさせる	А	<b>V</b>	А	<b>V</b>	А	V						
S I 集		① 基本的な生活習慣の育成	「小坪小のやくそく」や月毎の行動目標に基づく指導を通して子どもたちの規範意識の醸成に努める。	А		А	✓	А	<b>√</b>	· 75% ·					
	』 認め合う集団づ	② 豊かな心を育む教育の推進	たてわり集団を組織し、学校行事の中で他者への関心や愛着、思いやりや信頼感を高める機会とする	А	<b>V</b>	А	<b>√</b>	А	<b>V</b>		80%	80%	75%	80%	80%
集団づい	1 くりをめざして	③ 体験活動の推進	たてわり集団を組織し、学校行事の中で他者への関心や愛着、思いやりや信頼感を高める機会とする	А		А		А							
くり		④ 問題行動等への対応の推進	これまでの取組を生かし、教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制を充実させる	В		А		А							
	1 支援教育の推進	① 支援教育の推進	授業についての自己チェックリストを活用し、授業のユニバーサル化を意識する。	А	<	А	\	А	<b>✓</b>	80%	80%	80%		78%	75%
Ш	2 安全・安心に向 けた取り組み	① 学校安全の推進	学校と保護者・地域との連携により児童の安全を地域全体で見守る体制づくりを発信していく	В		А	<	А	<b>√</b>	60%	80%				
学校		① 研修事業の充実	学校内外の研修への参加を促し、教職員の専門的力量を向上させる	В		В		В		. 75%		75%	73%		
組	3 研修・研究の推	② 教育に関する業務の標準化 に向けた取り組み	標準化された出席簿や児童名簿等を校務支援システムで作成し、利用する	А		А		А			75%				
織づく	進	③ 信頼に基づいた指導の推進	「いじめアンケート」を行いいじめの未然防止や早期発見、いじめへの迅速な対応を図る	А		А		А	<b>V</b>						
< り		④ 教育の情報化の推進	導入される校内支援システムの活用を職員全体で行う	А		А		А							<b>, ,</b>
	, 開かれた学校づ	① 幼稚園・保育園・小学校・ 中学校の連携の推進	教育相談コーディネーターが中心となり、適切な就学や進学を実現するための情報共有に努める。	В	в 🗆 а 🗆	А	<b>V</b>	700/	0001	700/					
	4 < り	② 地域との連携の推進	学校の教育活動を積極的に公開し、保護者・地域と課題を共有することで学校運営の充実を図る	5 A		А		В		70%	80%	70%			
				0/		>+-	۸ <i>خ</i>	4 D#	- 0	C た 2	l		. C	ы <i>—</i> ж	- / <del>-</del>

%は、Sを5、Aを4、Bを3、Cを2とし、項目数×5で割った数値

評価基準 S·・・・想定以上の顕著な成果が見られ、行動プランが達成された(100%~90%程度)

B…課題はあるが一定の成果が見られ、行動プランが概ね達成された(70%~30%程度)

A…想定していた成果が見られ、行動プランが達成された(90%~70%程度)

C…成果が見られず、または一定の成果が見られたが、行動プランは達成されなかった(30%~0%程度)